

試聴会・訪問記掲載

河口無線ハイファイディリティ試聴会報告(2014.11.22)

河口無線で開催されたラックスマン新製品の試聴会に行ってきました。対象となるラックスマンの新製品はセパレートアンプ「C-700u/M-700u」のペアでD-06uによるハイレゾ音源のデモも行われました。

使用機材は次のとおりです。ジョーシン日本橋1ばん館オーディオ試聴会で開催されたLux D-06u およびD-08uの試聴会でD-06Uは聴いていますが、アンプはリリース前だったのでその確認に行ってきました。

プリアンプ：ラックスマン・C-700u



パワーアンプ：ラックスマン・M-700u



SACD プレーヤー：ラックスマン・D-06u



スピーカー：B&W・800Diamond



試聴は、D-06uによるディスクの再生、BuffaloのNASからUSB入力によるファイル音源の再生、アナログの再生を行って行きました。総じて、この種のデモで感じるのですが、クラシック以外は心地よく聴けるものの、クラシックになるとつい生演奏と比べてしまうせいか、音場の立体感や楽器の質感にもどかしさを感じてしまいます。D-06u自体はネットワーク再生機能がなくDSDまでのUSB入力が可能でBuffaloのNASからUSB入力によるハイレゾPCM音源や5.6MHzDSDも再生されましたが、自宅のBuffaloのNASから無線LAN経由で読み込んだハイレゾPCM音源や

5.6MHzDSD 再生と同じような音がしていたのは不思議に思いました。もしかするとNAS 特有の音があるのかもしれませんが。